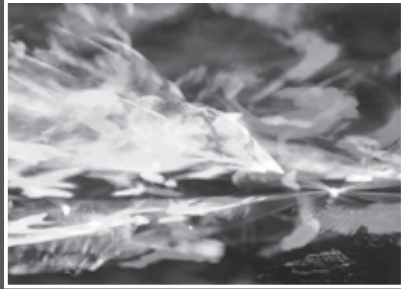




今日の表紙
オーロラファンタジー



「日光四季祭」の一環として、3月16日(土)～30日(土)に、湯西川温泉でオーロラファンタジーが開催されました。

このイベントは、湯西川温泉がまくら祭実行委員会が主催するもので、木材を燃やして発生した煙にレーザー光線を当て、人工的に光の揺らぎを作り出すものです。たなびく無数の煙の筋が複雑に交差し、赤や緑の光を受けてあたかもオーロラのような幻想的な空間を繰り広げます。

イベントが始まる午後8時30分が近づくと、温泉旅館の宿泊客たちを乗せたマイクロバスやワゴン車、オーロラを一目見ようと集まった観光客や市民の車が次々と会場に到着しました。

暗闇の中、音楽に合わせて夜空に色とりどりの光の模様が描き出されると、集まった観客たちは歓声を上げていました。

地元の湯西川温泉に住む鈴木愛菜ちゃんは、「光が扇子みたいにいっぱい広がって、とてもきれいだった」と、目を丸くさせながら答えてくれました。



3月24日(日)に、イオン今市店で防災フェスタ2013が開催されました。このイベントは、市災害ボランティア支援センターが主催するもので、大勢の家族連れや買い物客でにぎわいました。



また、屋外に設置されたブースでは、消防車や特殊車両の展示、煙通路や地震車による地震体験などが開催され、参加者はそれぞれ防災・減災について学びました。



3月31日(日)に今市地域岩崎で、岩崎観世音大祭が行われました。この寺は、約1,200年前に弘法大師が開いたといわれています。また奥の院「鶴の子観音」は、子授けの信仰で広く知られています。「大祭の日に、観音様にお供えた卵を1個もらって帰り、食べる」と子宝に恵まれる。子どもを授かったら、翌年2個の卵を返す」という習わしが、およそ400年続いています。



親子3人で、卵を返しに訪れた前原さん(壬生町)は、「知人から観音様のことを聞いて参拝し、子どもを授かりました。びっくりしましたけど、ご利益ありますね」と、笑顔で話してくれました。

防災フェスタ2013

また、屋外に設置されたブースでは、消防車や特殊車両の展示、煙通路や地震車による地震体験などが開催され、参加者はそれぞれ防災・減災について学びました。

岩崎観世音大祭

親子3人で、卵を返しに訪れた前原さん(壬生町)は、「知人から観音様のことを聞いて参拝し、子どもを授かりました。びっくりしましたけど、ご利益ありますね」と、笑顔で話してくれました。



全日本手打そば
早食い選手権
3月10日(日)、今市宿市緑ひろばでそばの早食い大会が開催され、市内外の100名が参加しました。



車いすボランティア入門
3月18日(月)、車いすボランティア入門講座が開催されました。



ご当地ナンバー交付開始
市役所本庁で、3月21日(木)に50cc以下、90cc以下、125cc以下の3種類の原動機付自転車に取り付けできる、市ご当地ナンバープレートの交付が行われました。



見事50cc以下の1番ナンバーを取得した小野口昇一さん(今市)は「広報紙でご当地ナンバーのことを知りました。1番を取れて感激しています。日光仮面が大好きで、プレートをつけて日光をPRしたいです」と、満面の笑顔で話してくれました。

男女共同参画社会
づくりフォーラム



3月16日(土)に今市文化会館で、男女共同参画社会づくりフォーラム in 日光が開催されました。

最初に、市男女共同参画推進事業者表彰が行われ、長畑自治会と丸彦製菓株式会社が表彰されました。

アトラクションでは、県男女共同参画地域推進員日光市連絡会による、「もし、日常の役割を交替したら」と題した朗読劇が行われ、観客は男女共同参画について分かりやすく学びました。

講演は、「女らしさ男らしさ」をテーマに、講師に作家の室井佑月氏を迎え、室井さんの話す赤裸々な体験談に、会場は笑いの渦に巻き込まれました。

参加者の印南光男さん(所野)は、「普段は講演には行かないのですが、今日来てみて楽しかったです。これからは色々な講演に行ってみようと思います」と笑顔で話してくれました。

